

伊奈波界限まちづくり会

設立
平成十四年七月十八日

発行
二十五年十月十日
第三十六号

発行・伊奈波界限まちづくり会
広報委員会
責任者 川島兵太郎
発行日 毎月十五日 全世帯配布
事務局 千五百〇八〇六 岐阜市木造町 千四番地 株式会社
電話 〇五八二六四〇八四
電送 〇五八二六五八二〇
E-mail: sac2000@jshplanet.com

まちづくりを
応援します

カフェ・レストラン
桂翠館
岐阜市米屋町二
電話 二六四一五七三三五番

まちづくりを応援する広告主
を募集します。事務局まで

総会 伊奈波界限まちづくり会 お陰様で、来年「十周年を迎えます。

さる九月十八日(土)午後二時から米屋町の桂翠館二階の広間で総会が開催されました。今回の総会は、はじめてまちづくりエリア内の全世帯五七二世帯に町会の自治会を通して回覧ではなく各戸に総会の案内をいたしました。また、総会の案内ポスターも掲示しました。各町会の自治会長様にはご無理を申しあげ厚く御礼申し上げます。

伊奈波界限まちづくり会は、エリア内二十自治会によって平成十四年に設立されました。以来、自治会長さんも代わり当時の状況や約束事もやもすると伝わっていない状況で、総会にお見えになった方の中には、まちづくり通信や各種案内は、何も回覧、もしくは配布を受けていないと、総会場に自由に閲覧できるように、まちづくり通信、まちづくり協定署名簿、まちづくり審議会経由書などを見て、吃驚されていました。金華自治会連合会の連合会長さんの交替による最初の総会であり、中村季雄連合会長代行をはじめ、岐阜市のまちづくり景観課、にぎわいまち公社の皆さんもご出席いただき、記念講演では、当初から金華地区のまちづくりに関与していただいている岐阜大学地域学部の准教授山崎仁朗先生の「まちづくりはなぜ必要か」のテーマでお話をいただきました。総会では、昨年度の事業及び会計報告が承認され、新年度の事業及び会計計画案が承認されました。従来と違い、事業案では、それぞれの事業がどのようにして誕生し、運営されているかを細かく説明され、そだったのかと会場では、納得の声があがりました。

この総会で議決された一番大切なことは、
①運営会議の議事録を各自治会長さんに届ける。
②十周年を機に運営の見直しをする。
自治会長さんには、運営会議にご出席いただき、ご意見を伺うことになり、運営会議のご案内もそのつどお届けすることとしました。

山崎先生のご講演の一番の趣旨は、「地縁を大切に、自分たちでできることは進んで行い、地域の担い手となることでできる街を目指す」とです。再度、各自治会長さんをお願いした運営



山崎先生のお話を会場で聞き入る参加者のみなさん

委員の推薦も、いっそうの充実した運営を目指すものです。また、運営委員の返事を事務局に出していたいただけない町会は、至急ご連絡くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

主な行事案

行事案は、案が承認されたもので、内容は、運営会議で決定します。運営委員は、エリア内にお住みのお方であれば、どなたでも委員になれます。運営委員は、各町会から二名の推薦によって構成されます。自治会長さん自ら運営委員のところがありませんし、そうでない町会もあります。ご推薦いただいた町会もすでにあり、新メンバーを加えて充実した会議ができそうです。直接事務局まで申し出ていただいても運営委員になれます。

審議会との連携

金華地区には岐阜市による景観条例が実施されるようになり、私たち伊奈波界限にもまちづくり協定があります。この二つの条例をどのように運営していくのか、岐阜市に問い合わせてみます。しばらくは、「両立して運営する」とのこと。まちづくり審議会は、会長を自治会連合会長と委員を当該自治会長、会長の推薦する委員、学識経験者で構成され、建物や看板等の状況を判断して「経由証明書」を発行します。建築主は、この経由証明書を添えて建築確認を取ることになります。伊奈波界限まちづくり会は、お手伝いはしますが、運営は審議会が行いますのでお間違いないように。

街路樹の整備

矢島町の銀杏並木が枯渇してなくなっているままになっていきますので、まず、調査から始めます。矢島町一丁目・二丁目の自治会長様、住民の皆様情報の提供をお願いします。木造町の桜並木も枯渇が進み、補充植樹を行います。木造町の桜並木は、四十年岐阜国体で整備されたもので県道です。ちなみに伊奈波通の枝垂れ桜は、「柳の風情を残すように」と、地元の要望もあり、昭和六十三年岐阜信用金庫によって柳から、枝垂れ桜になったもので、当時の町会からの要望で実現しました。特に今年暑い夏が多く、街路樹も悲鳴を上げていました。街路樹には、木の前のお店や会社で水やりをすれば、枯れずにすませることができずは、ご協力の程をお願いします。

プランターの設置

街に空き地が多くなりはじめ、来訪者に潤いをはじめた活動です。まず、伊奈波通から始めましたが、他のエリアにも少しずつ広がってほしいと思います。新規募集をしますので、よろしくお願います。条件は、水やりと管理です。プランターや花は、まちづくり会で用意します。

桜まつり・ライトアップ

九年目を迎える桜まつり期間中のライトアップは、人気も毎年上昇しつつあり、来訪者に好評で、岐阜市の新名所として認知されつつあります。当該町会からのご意見はありますが、「温かく来訪者を迎え入れ」、「界限への来訪者を増やし、活性化に役立てる」ことが実施のねらいですが、桜の開花に合わせることにあります。照明器具は、岐阜公園イルミネーションにも貸し出しています。

岐阜まつり本楽イベント

来年は四月三日(日)に予定しています。岐阜まつり宵宮は、年々賑わいを取り戻しつつありますが、本楽の日は淋しいままでした。何とか賑わいをと始めたのが、このイベントで、界限のお店や業者の協力で開催されます。界限のお店のご参加をお待ちしています。色々な形で協力いただけると思います。このイベントで誕生したのが、「花穴子」という穴子寿司で、人気商品になりました。舞台での催し、バザーでの物販と頑張っています。

オープンカフェの開催

桜まつり唯一の収入源で、まちづくり活動の重要な部分を占めています。桜まつりの一般寄附をお願いするのを取りやめて開催するようになってより、重要な行事になりました。夜桜見物の来訪者が、ちよつと一服する場所がない。それは、界限のお店の早じまいにも関係しているもので、真つ暗な通りになってしまっています。多くの来訪者を「もてなし、賑わいを界限に」とはじめたことで、幸い調理師免許を持ったメンバーが当番で店を開き、多くの桜見物の皆さんを迎えています。開店は、ライトアップ期間中の金、土、日曜日の夜、伊奈波広場で開きます。大変なことは、毎日店を設営して撤収することです。厨房やテーブルの組立、解体などに人手が必要でこれだけでもお手伝いいただけると大変楽になります。ボランティアの申し出をお待ちしています。ここで誕生した「ワッフル」は皆様に美味しい美味しいと好評です。一度食べに来てください。

御船街道ウォークへの協力

昨年からはじまったイベントで、岐阜市から笠松町まで、九キロを歩くものです。江戸時代岐阜大仏の近くに御船所があり、長良川でとれた鮎を江戸の將軍まで運んだことにならってはじまった行事で、通過自治会で実行委員会を組織して行われます。昨年は初年度ということで実行委員長は、金華の自治会連合会長西野洋一氏がつとめ、本年は白山校区の堀敏雄氏がつとめました。

伊奈波界限まちづくり会では、途中の「伊奈波ステーション」を設置して、参加者の接待につとめます。ステーションでは、界限のお店から試供品の提供を受け、参加者に配ります。今年は、亀甲屋さんのうかい鮎、長崎屋さんの松味噌、魅兵さんの魅饅頭いなばの露、大文字寿司御杉町支店さんの鮎寿司がそれぞれ約一〇〇個ほど提供いただき、ステーションで参加者に無料で配られました。この提供品は、界限の食品関係だけではなく、その他にも色々ありますので、是非、参加の手を上げてください。提供品には、それぞれ、まちづくり会で商品にタグを付けていますので、後日来店があったという声を聞くと嬉しくなります。商品のアンテナショップとしてご利用ください。

エリアマップ・伊奈波界限の発行

界限には一〇〇近くのお店があります。界限の活力を取り戻すためにも、多くのお店を紹介し、エリア内の風物詩を中心とした行事などを紹介して、一人でも多くの来訪者を獲得して界限の活性化に役立てようと発行するものです。大きさは、A全判両面カラーで一万部の発行を予定しています。十一月中には発行します。ご期待ください。

伊奈波界限まちづくり会 総会

記念講演「まちづくりは、なぜ必要か」 岐阜大学地域学科准教授 山崎仁朗氏

2010年9月18日(土) 14:00~15:30 場所 桂翠館

2009年度(9期)事業報告 2009-7-1~2010-6-30

2009年 7月 5日	花飾りプランター植え替えと設置
10月10日	総会・お館街道講演
10月17日	お館街道ウオーク協賛
11月 8日	伊奈波通1~3丁目清掃
11月15日	同
11月22日	同
11月29日	同
11月29日	花飾りプランター植え替えと設置
12月 6日	伊奈波広場池周辺掃除
12月15日	通信33号発行
2010年 2月 1日	通信34号発行
2月25日	桜枯渇木の株お越し
3月 2日	道路維持課と打ち合わせ
3月27日	通信35号発行
3月28日	岐阜まつり宵宮のぼり立て協力
3月28日	桜のライトアップ開始
3月28日	オープンカフェ開店
4月 4日	岐阜まつり本業イベント・バザー実施
4月 4日	オープンカフェ開店
4月 9日	オープンカフェ開店
4月10日	オープンカフェ開店
4月11日	オープンカフェ開店
4月16日	オープンカフェ開催(雨で中止)
4月17日	オープンカフェ開催
4月18日	ライトアップ終了
6月 3日	まちづくり景観課と打ち合わせ

※ まちづくり運営会議、役員会開催

2010年度(10期)事業計画(案) 2010-7-1~2011-6-30

景観形成委員会	まちづくり審議会との連携(市景観条例と共用)
景観整備委員会	矢島町の街路(いちよう)樹の状況調査 伊奈波広場池周辺の清掃12月5日(日) 伊奈波通・木造町の清掃11月の日曜日4週 木造町枯渇桜の木の補充植樹(5本)
賑わい委員会	花飾りプランターの設置新規募集(10個) 伊奈波通以外の町会にも働きかける 伊奈波盆踊りへの協力 岐阜まつり宵宮への協力(4月2日) 桜まつり開催 3月下旬~4月中旬 ライトアップ 期間は桜の開花状況による 点灯式 3月 岐阜まつり本業イベント(バザー)の開催 4月3日(日) オープンカフェの開催 期間中 お館街道ウオークへの協力 参加店の募集をする
広報委員会	通信の発行とマスコミの活用 魅力・伊奈波界限紹介マップ発行A全カラー エリア内自治会長との交流をたかめ、自治 会長に議事録を届ける エリア内の特産品づくりの研究
運営委員会	
実行委員会	設立10周年記念会準備委員会の設置 委員をエリア内自治会長にお願いする

2009年度(9期)決算・収入の部 2009-7-1~2010-6-30

項目	前期実績	09年実績	摘要
前年度繰越金	185,451	200,850	
会費	381,000	205,000	
助成金	0	0	助成金なしの運営の実施
桜まつり協賛金	72,000	72,000	協賛店24
同 寄付金	50,000	50,000	伊奈波神社
バザー売上げ	206,265	139,870	4月4日(日)開催
オープンカフェ売上げ	157,015	139,950	6日間開催
雑収入	0	6,500	お館街道のぼり新規
受取利息	421	68	
合計	1,052,152	814,238	

2009年度(9期)決算・支出の部 2009-7-1~2010-6-30

項目	前期実績	09年実績	摘要
賑わい委員会	604,592	531,187	桜まつり・御館街道
景観形成委員会	1,750	14,937	まちづくり審議会運営費
景観整備委員会	10,310	26,341	掃除・花飾り
広報委員会	136,305	22,995	会報発行
渉外・会議費	23,514	18,800	市民運動会協力金・会議費
事務管理費	40,000	40,000	資料作成・コピー他
雑費	34,831	15,060	
繰越金	200,850	144,918	
合計	1,052,152	814,238	

監査

棚橋共男
小坂井純一

2010年度(10期)予算・収入の部(案) 2010-7-1~2011-6-30

項目	予算	摘要
前年度繰越金	144,918	
会費	250,000	
助成金	350,000	助成金(10月15日)
桜まつり協賛金	80,000	協賛店の拡大
同 寄付金	50,000	伊奈波神社
バザー売上げ	150,000	2011年4月2日(日)開催
オープンカフェ売上げ	150,000	7日間開催
雑収入	2,000	
受取利息	100	
合計	1,177,018	

2010年度(10期)予算・支出の部(案) 2010-7-1~2011-6-30

項目	予算	摘要
賑わい委員会	500,000	桜まつり
	30,000	御館ウオーク
景観形成委員会	15,000	調査・まちづくり審議会運営費ほか
景観整備委員会	30,000	植樹・掃除・花飾りの拡大
広報委員会	350,000	マップ発行
	20,000	会報発行
渉外・会議費	20,000	会議費ほか
事務管理費	40,000	資料作成・コピーほか
10周年記念会準備金	150,000	10周年式典ほか
予備費	22,018	
合計	1,177,018	

皆様のご理解とご支援により、まちづくり会も来年十周年を迎えることになりました。これを機に設立当時の心意気を取り戻し、現況に合わない問題は、改めて、さらなる発展と、界限の活性化を進めて界限の「賑わいを取り戻す」、「風情を取り戻す」ための再確認の絶好の機会となります。

準備委員の構成は、エリア内の自治会長さん、もしくは、町会から推薦いただいた委員さんで構成しようと考えています。それにもう一つ自薦他薦でもまちづくりに係わりとうとする方は、メンバーとして歓迎します。岐阜大学の山崎仁朗先生ら学識経験者、行政の皆様も加わっていただきたいと思っています。界限が元気を取り戻し、多くの来訪者を迎えられるように、また、界限の

伊奈波界限まちづくり会 設立十周年記念会準備委員会の設置

「私の町会は配布されていない」というお問い合わせが事務局にあり、その都度そのお宅にお届けしているのが現状です。このことは、自治会長さんにとっては一つ仕事が増えることになり、多くの配布物があり、迷惑との声もあります。しかし、自分たちの日常住んでる地域の状況を把握していることは必要なことで、町会の皆さんには「まちづくり通信」を、自治会長さんには「運営会議の議事録」をお届けすることになりました。

ぜひ、界限のまちづくりにお役立ていただければ幸いですし、特に、不明な点は、「事務局」へ直接お問い合わせいただくと幸いです。

運営会議の議事録を自治会長さんへ

2010年度桜まつり予算・決算報告 2010-4-30

項目	予算	決算	摘要
まちづくり会より	20,000	96,957	本会計より繰り入れ
のぼり 新規 @5,000	50,000	5,000	日乃出屋
継続 @1,000	10,000	0	
一般寄付 @1,000	0	0	
寄付金	50,000	50,000	伊奈波神社
オープンカフェ	150,000	139,950	
協賛 協賛店	72,000	72,000	24店
看板	0	0	
バザー売上げ	200,000	139,870	
合計	552,000	503,777	

支出

項目	予算	決算	摘要
のぼり制作ボール付30組	69,300	0	
名入れ製作費	15,000	0	
チラシ兼ポスター印刷	50,000	34,125	A判長切10,000枚
出演者祝儀・お礼・音響・舞台設営費	90,000	80,000	舞台30,000出演者50,000
バザー材料 豚汁	30,000	28,862	ひら井
焼き鳥(400本)・ソーセージ(250本)	40,000	38,535	岐阜アグリフーズ
団子(600本)	15,000	28,350	羽鳥園子
生麩団子(400本)	10,000	10,000	魁兵
イベント・バザー関係雑費	11,000	10,500	餅菓子機レンタル料
イベント担当者用弁当	4,800	4,400	ひまわり
バザー用燃料費	14,000	11,025	島商事
オープンカフェ 食材費	65,000	83,926	
設備費	15,000	14,917	テークアウト費ほか
チーフお礼	15,000	-	お礼3名
桜ライトアップ・架設・撤去・工事費 伊奈波通	90,000	57,750	両春電気
メンテナンス費 木造町	16,471	16,000	エッセイ建設(にっさ)
伊奈波通電気料金 2010年3,4月分	10,000	7,386	中部電力
木造町電気料金 2009年7-12月,2010年1-6月分	13,300	19,485	中部電力
証紙代	2,300	2,300	道路使用届
看板制作費	0	0	
協賛店マップ・通信製作費	36,750	36,750	通信35号
雑費	8,379	19,466	
合計	552,000	503,777	

※ バザー材料の発注本数は2010年度の数字で、前年より発注数を減らしています。天候に恵まれずバザー、オープンカフェの売上げが目標収入より減収になっていますが、本会計からの繰り入れによってほぼ予算通り実施できました。

皆様の浄財でまちづくり会は運営できます。この二、三年は岐阜市からの「景観形成市民団体助成金」の交付を受けない会の運営をしてきました。これは、助成金のあるうちは活発に活動し、なくなるに衰退するようになることにならないように心掛けて予算の執行につとめたわけです。

支援会費のお願い

お店も、まちづくりを活用して商売繁盛をめざして欲しいと思います。今回発行する「エリアマップ」も準備を始めてから日時も進み、お店の写真やコメントをいただいたにもかかわらず、「もう店をやめるから、マップからははずして欲しい」という悲しい声も出てきました。淋しいことです。賑わいを取り戻そうと始まったまちづくりですので、みんな今一度、智恵を出したいと思っています。

準備委員会のご案内はもちろん、各行事には積極的にご参加いただき、ご意見を伺える集まりを増やしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。

お一人でもご理解いただければ、仲間が増えいき、まちづくりという枠を超えた界限の絆が深まり、地域を愛する心が次代の子どもたちにも伝わっていくと思えます。どうかよろしくご理解いただきましてご支援いただきますようお願いいたします。会費のお願いは、後日趣意書とともにお届けいたしますのでよろしくお願いいたします。

桜まつりでも一般寄附をなくし、特に桜まつりは、独立会計で行うようにしています。今回の予算案では、岐阜市より景観形成市民団体の認定を受けていることによって、助成金を加えた事業計画を立てることができましたが、助成金は最後の年となります。つきましては自主運営ができるためには従来のようにご支援をお願いしなければなりません。「自分たちのまちは、自分たちで守る」を合言葉に、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

個人会費 一口 一、〇〇〇円
法人会費 一口 一〇、〇〇〇円